

【アジェンダ】

- 1 事業の大枠
- 2 応募区分
- 3 補助対象経費
- 4 補助額と収入の相殺について
- 5 その他の義務等
- 6 審査の観点
- 7 応募方法・スケジュール

1 事業の大枠（公募要領 p.2）

札幌市の実証実験事業として、以下の2つの取組を支援

1 新たな創造活動へのチャレンジに対する支援

- これまで技術的に取り組むのが難しかった創作に挑戦する
- ステップアップを目指してコンペ・賞レースに挑戦する
- アーティストの活動を世界中に発信する

などのアーティストの新しいチャレンジや地域の文化芸術の発展を担う人材の育成に対して支援を行う取組み

2 文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

アーティストの活動をまちづくり・商業・観光・教育・福祉・科学・環境問題などの異なる分野とつなぎコラボレーションさせることで、アーティストの活躍の可能性を広げるとともに、地域社会にも文化芸術が生み出す新しい可能性や価値をもたらす社会連携の取組み

2 応募区分（公募要領 p.3）

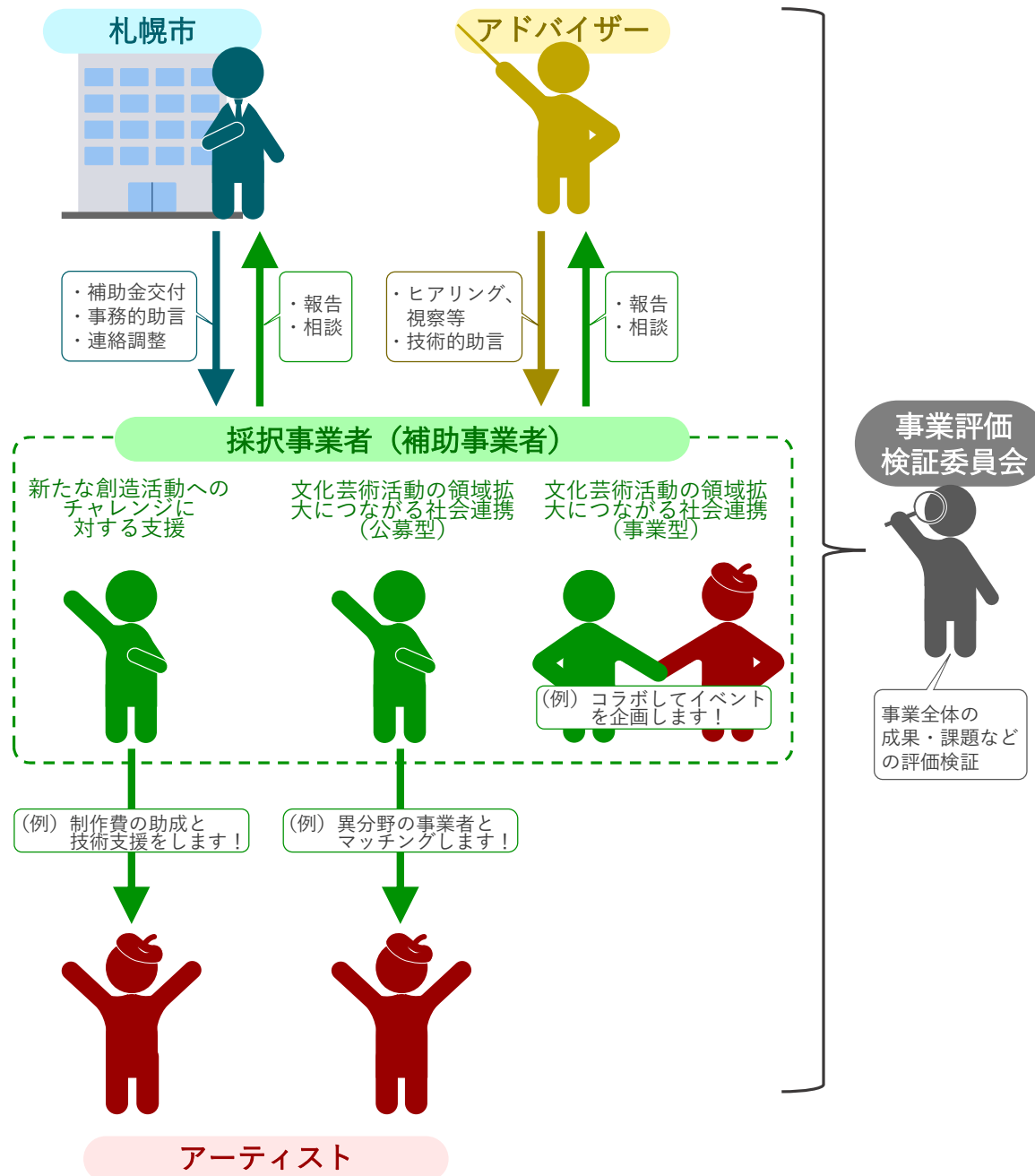
応募区分	新たな創造活動へのチャレンジに対する支援	文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携	
		公募型	事業型
対象事業	アーティストのステップアップ等の支援	アーティストの活動を異なる分野とつなぎ地域社会にも新しい価値等をもたらす取組	
補助限度額	300万円	200万円	100万円
補助率	10/10		
応募要件①	応募者が札幌市内に拠点等を有するなど	行われる活動が札幌市内で行われること <u>（応募者の拠点が市内にある必要はない）</u>	
応募要件②	支援対象の市内で活動するアーティストを広く公募すること	少なくともアーティストを1名公募すること	特に公募を要件としない
採択見込み件数	1件程度	1～3件程度	1～5件程度

※同じ区分への応募は1事業者につき1件

※採択を受けることができるのは全体で1件のみ

2 応募区分（公募要領 p.4）

【事業イメージ】



2 応募区分（公募要領 p.5）

① 新たな創造活動へのチャレンジに対する支援

【想定される事業例】

- アーティスト支援
 - ・ 技術的に取り組むことが難しかったことに挑戦する
 - ・ ステップアップを目指してコンペ・賞レースに挑戦する
 - ・ アーティストの活動を世界中に発信する

- 地域の文化芸術の発展を担う人材の育成
 - アートマネージャーやアートボランティアなどアートを支える人材の育成

2 応募区分（公募要領 p.6）

② 文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

【想定される事業例】

文化芸術の視点を新たに取り入れ、まちの活性化や観光客誘致を目指す取組



文化芸術×まちづくり

- 既存のお祭りなどにアートの視点を入れた新しいイベントの開催
- 地域をリサーチし、これまでとは違う視点で描く地域映画の制作
- アーティストと観光推進団体やまちづくり団体等が共同で開催する「文化芸術の地域活性化への活用について」などをテーマにしたシンポジウム・勉強会 など



文化芸術×観光

- 観光イベントに地域独自の文化芸術を生かす取組み
- 歴史的建造物とアートを組み合わせた新しい創作・発信の取組み など

2 応募区分（公募要領 p.6）

②文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

【想定される事業例】

年齢、性別、国籍、民族、障がいなどの観点から、文化芸術を通じて共生社会を推進する取組



文化芸術×共生社会

- 障がいなどにかかわらず誰でも楽しめる文化芸術イベント
- 病院や社会福祉施設でのアートイベントを通じたコミュニケーションの増進
- 文化芸術を通じてジェンダーに関する問題の啓発を図る取組み など

2 応募区分（公募要領 p.6）

②文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

【想定される事業例】

企業等がアーティストとつながり、産業の活性化やアーティスト自身の活躍の場、活動資金獲得などに繋がる取組



- アーティストと企業のミートアップ
- アーティストと企業研修ワークショップの開発
- 障がい者アートを生かした新商品パッケージの作成 など

2 応募区分（公募要領 p.6）

②文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

【想定される事業例】

文化芸術を媒介に、様々な分野の担い手が連携して社会課題の解決を目指す取組



文化芸術×環境

- アートを通じて環境問題を市民に広く伝える取組み
- アートを生かした環境負荷軽減の取組み



文化芸術×教育

- 不登校の子どもたちとの文化芸術のWSを行うことで、自己肯定感をはぐくむなど

2 応募区分（公募要領 p.6）

②文化芸術活動の領域拡大につながる社会連携

【想定される事業例】

学術・研究機関などと連携した芸術と科学をつなぐ取組



文化芸術×学術・研究

学術・研究機関と連携し科学技術などを活用した作品制作

3 補助対象経費（公募要領p.10）

補助金の対象経費にならない経費もあることから、よく要領を読んで確認をお願いいたします。

★補助対象経費項目

人件費等	給与
	雑給
	報償費
	旅費
助成金	
技能の提供に係る費用	出演費
	音楽費
	文芸費
場所・環境の整備にかかる費用	舞台費
	運搬費
	作品借料
	会場費
消耗品費	
通信費	
雑役務費	
委託費	

★補助対象とならない経費例

- ・役員報酬
- ・事務所維持費
- ・補助事業終了後も恒常的に使用可能な備品等
- ・各種手数料
- ・飲食にかかる経費
- ・他の事業と明確な区分が困難な経費 など

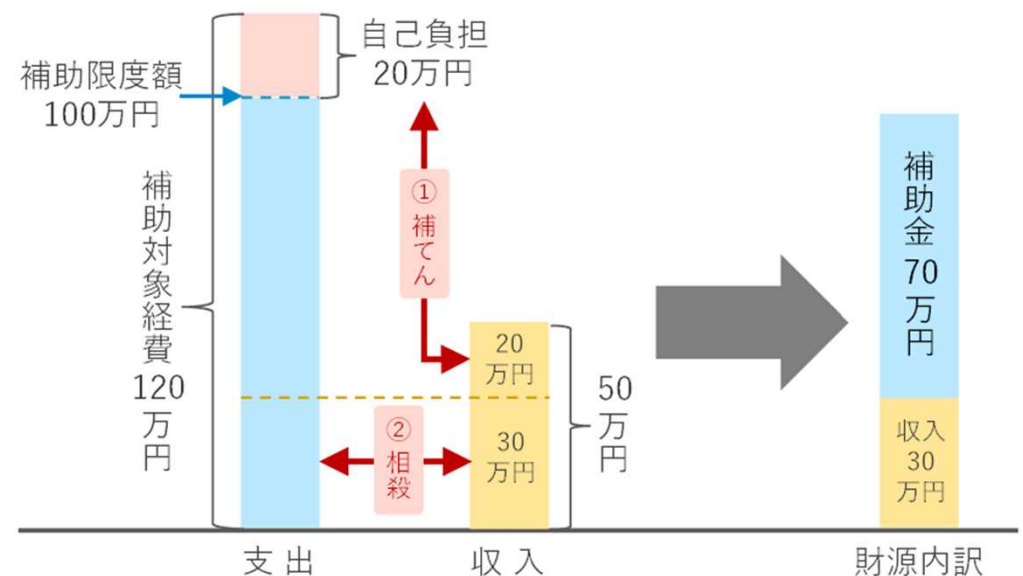
4 補助額と収入の相殺について（公募要領 p.15）

■ 原則

本補助金を受けて行う事業により収入が発生した場合は当該収入に相当する額を補助額から減じます。

■ 補助対象経費が補助限度額を上回る場合

補助対象経費の総額が補助限度額を上回る場合、まず補助対象経費のうち補助限度額を上回った金額を収入と相殺し、残る収入に相当する額を補助額から減じます。



5 その他の義務（公募要領 p.16）

- アーティスト公募を行う事業については、公募の方法が決定する前に札幌市に内容の確認を求めてください。また、選考の場には、札幌市が指名する者を参加させていただきますのでご承知おきください。
- アーティスト公募を行う事業については、公募内容を札幌市ホームページでも掲載させていただきます。
- 採択事業については適宜打ち合わせをさせていただくことを想定しておりますのでご承知おきください。なお、採択後に採択団体を集めた全体会議を開催する予定です。

6 審査の観点（公募要領 p.21）

評価項目	評価事項
問題意識	提案内容の根幹となる目的意識が明確であり、かつ本補助金の趣旨に合致しており、札幌の文化芸術の発展または社会課題の解決等に有効な視点を有しているか。
妥当性	目的意識に基づき明確・的確な目標を設定した上で、有効な実施方法を想定しており、事業の実施により本補助金の目的達成に有益な成果が期待できるものであるか。
確実性	取組の実施方法が具体的かつ現実的であり、実施体制や過去の実績等に照らして実現性があると判断できるか。
持続性	補助対象となる期間の終了後においても取組を継続させていく見込みがあるか。
波及効果	新プロジェクトの創出や既存プロジェクトの新たな展開、事業に参加した人の行動変容などに繋がる見込みがあるか
創造性、革新性 （新たな創造活動 の評価項目）	札幌に新たな価値を生み出し、現状の変革をもたらすことが期待されるか
共創性 （社会連携の評価 項目）	多様な主体を巻き込み、新たな価値を生み出すことが期待されるか。

7 応募方法・スケジュール（公募要領 p.18）

■ 募集期間

令和6年3月12日（火）～令和6年4月30日（火）

■ 応募書類（右記サイトから各様式をダウンロードしてください）

- 令和6年度プロジェクト計画書【様式あり】
- 応募者の概要【様式あり】
- プロジェクト収支予算書【様式あり】
- 経費明細表及び収入内訳【様式あり】
- 誓約書【様式あり】
- 納税証明書（市町村税）
- 直近の決算書

（平時から事業を行っており、用意がある場合のみ）

- 団体の定款、規約等の写し

（応募者が団体であって、定款等が定められている場合のみ）

（記載例も掲載しています）



7 応募方法・スケジュール（公募要領 p.18）

時期	内容
～4/30	募集期間（4/30の17：00必着）
5月下旬	一次審査結果連絡
6/6、6/7（予定）	プレゼン審査（提出書類以外の追加書類は認めません）
6月上旬	採択結果連絡
	実施内容の確認調整
6/21（予定）	採択団体への全体説明会
6月中	交付決定
～	事業実施（希望があれば補助額の6割を概算払い） 適宜事業状況確認のための打ち合わせ 必要に応じてアドバイザーからのアドバイス
2/28	事業終了期限
～3月7日	事業報告書提出（支出根拠含む）